

福井県立病院臨床研修プログラム

1 プログラムの理念

どの科の専門医であっても、患者の初期対応ができる医師を養成しようという目的で、平成16年度から初期臨床研修医制度が始まりました。それ以前から当院では、救命救急センターを中心として、一般的な疾患を正確に診察できる医師を育てる教育を行ってきました。長年の経験の中で学んだこと、また当院で研修を受けた医師達からの意見を参考として、改善するように努めてきた研修プログラムがありました。それを基本として、経験すべき項目がすべて達成できるような研修プログラムを作成しました。これは、研修医が実力をつけるというためだけのものではなく、患者さんのために役立つ医師を育成するという主旨を含めて作ったものです。患者さんから信頼され、たよりにされる医師になってほしいと思います。

2 研修目標

プライマリーケアに対処しうる臨床医あるいは高度専門医療を目指す臨床医、いずれにも必要な診療に関する基本的知識、技能および態度の習得を目標とします。

- (1) 全ての臨床医に求められる基本的な診療に必要な知識・技能・態度を身に付ける。
- (2) 緊急を要する病気または外傷をもつ患者の初期診療に関する臨床的能力を身に付ける。
- (3) 慢性疾患患者や高齢患者の管理上の要点を知り、リハビリテーションと在宅医療・社会復帰の計画立案ができる。
- (4) 末期患者を人間的、心理的理解の上で治療し、管理する能力を身に付ける。
- (5) 患者及び家族とのよりよい人間関係を確立しようと努める態度を身に付ける。
- (6) 患者の持つ問題を心理的・社会的側面をも含め全人的に捉えて適切に解決し、説明・指導する能力を身に付ける。
- (7) チーム医療において、他の医療メンバーと協調し、協力する習慣を身に付ける。
- (8) 指導医、他科または他施設に委ねるべき問題がある場合に、適切に判断し、必要な記録を添えて紹介・転送することができる。
- (9) 医療評価ができる適切な診療記録を作成する能力を身に付ける。
- (10) 臨床を通じて思考力、判断力及び想像力を培い、自己評価をし、第三者の評価を受け入れフィードバックする態度を身に付ける。

3 研修プログラムの特色

昭和53年から一般医科大学出身研修医を受け入れ、経験と伝統ある指導を行ってきました。総合診療、高度専門医療のいずれについても研修できる体制にあります。研修協力施設の診療所、保健所、血液センターにて予防医学研修等、また救命救急センターにて救急医療の研修が可能です。また、研修協力施設として福井県立すこやかシルバー病院、福井県子ども療育センターでの研修も可能となり、今後増加するであろう、老人精神疾患や地域での障害児療育等の十分な研修を行うことができます。

4 研修計画

【1年次】

A	B	C	D
<必修科目> 内科①(3か月) 血液・腎臓・消化器	<必修科目> 内科②(3か月) 呼吸器・代謝・循環器	<必修科目> 救急(3か月) (救急麻酔を含む)	<必修科目> 外科(1.5か月) 小児科(1.5か月)

研修コース(4コース): A→B→C→D、B→C→D→A、C→D→A→B、D→A→B→C

※研修開始7日間程度のオリエンテーションを行います。

オリエンテーションの主な内容

- ・就任式、病院の心得、電子カルテシステム取り扱い、医療安全、接遇研修
- ・薬剤部、放射線部のオリエンテーション、臨床検査実習、院内感染対策の指導

【2年次】

E	<必修科目> 産婦人科(1か月) <選択科目> (2か月)	<必修科目> 地域医療(1か月) <選択科目> (2か月)	<選択科目> (6か月)	
F	<必修科目> 地域医療(1か月) <選択科目> (2か月)	<必修科目> 産婦人科(1か月) <選択科目> (2か月)	<選択科目> (6か月)	
G	<選択科目> (6か月)		<必修科目> 産婦人科(1か月) <選択科目> (2か月)	<必修科目> 地域医療(1か月) <選択科目> (2か月)
H	<選択科目> (6か月)		<必修科目> 地域医療(1か月) <選択科目> (2か月)	<必修科目> 産婦人科(1か月) <選択科目> (2か月)

研修コース（4コース）：E、F、G、H

地域医療：福井県こども療育センター

福井県立すこやかシルバー病院

越前町国民健康保険 織田病院（介護老人保健施設等を含む）

おおい町国民健康保険 名田庄診療所

高浜町国民健康保険 和田診療所

おおい町保健医療福祉総合施設 診療所

選択科目：プログラムの選択科目臨床研修カリキュラムを自由に選んで研修できます。

ただし1選択科は1か月単位で最長6か月までとします。

<参考>

- 1 将来、外科医を志望する方は、専門医資格を得る上で必要となるため、「選択科目」で心臓血管外科の研修を受けることをお勧めします。
- 2 プライマリ・ケア能力向上のため、「選択科目」で精神科の研修を受けることをお勧めします。
- 3 血液製剤の提供・供給への理解を深めるため、「選択科目」で血液センターの研修を受けることをお勧めします。

5 研修実施責任者・プログラム責任者・副プログラム責任者および研修管理委員会

・研修実施責任者・プログラム責任者

服部 昌和 健康診断センター長

・副プログラム責任者

山口 正人 循環器内科主任医長

・研修管理委員会の役割

研修管理委員会は臨床研修プログラムの作成・内容の検討、研修プログラム相互間の調整、研修医の管理及び研修医の採用・中断・終了の際の評価等臨床研修の統括管理を行います。

6 指導体制

・研修医、指導医補助医、指導医でチームを組み診療にあたります。

・指導医1名に対して研修医は5名までとします。

・研修医の指導は責任を持って指導医が行います。

7 研修の記録及び評価方法

- ・研修医の評価は研修管理委員会にて行います。
- ・詳細な評価項目は別表に示します。
 - 1) 行動目標達成度の評価は項目により自己評価のみでなく、指導医・指導補助医・看護師等よりの評価も含めます。
 - 2) 経験目標は規定数の症例レポートを研修管理委員会に提出して下さい。
 - 3) 経験目標の症例の経験度は指導医が評価します。
- ・研修プログラムの評価は、研修管理委員会で毎年評価を行います。

8 研修医の処遇に関する事項（処遇については年度ごとに決まり次第公表します）

①処遇

採用形態：非常勤

宿舎あり：徒歩1分、月額負担1万5000円程度、1ルームマンション

給 与：1年次30万円、2年次37万円。賞与はありません。

社会保障：健康保険、厚生年金

休 日：完全週休2日制、祝日、年末年始

日 当 直：プライマリ・ケア実習のため、2年間に渡り救命救急医師の指導の下、救急外来の日当直業務を義務づけます。1年次は副当直として、2年次は正当直として勤務します。当直手当、時間外手当は別途支給します。

<注意事項>

地域医療等の実習において当院以外で医療行為を行うことがあるので、医師賠償責任保険には必ず加入してください。（医師会、自治体病院協議会、学会等でお世話している保険があります。分からない方には採用後に紹介いたします。）

②採用方法

マッチングシステムに則って公募を行います。

③公募採用人数

定員 10名

④選抜方法

選抜は面接および筆記試験により行ないます。出願書類、選抜期日などは決定次第発表します。選考結果はマッチングの結果により決定し、すみやかに本人に通知します。